

宇治群島宇治島のアリ

福元しげ子

〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

宇治群島の宇治島（別名家島と呼ばれる）は薩南諸島北部に位置し（Fig. 1）、鹿児島県南さつま市に属する無人島である。野間半島野間池港から東南東に約 70 km、漁船で 2 時間ほどのところにある。島の面積 0.61 km²、最高標高は灯台のある南日岳 95.0 m である。

これまで宇治島からはイソアシナガアリ 1 種が報告されている（山根ほか，1999）。今回宇治島で 12 属 13 種のアリを新たに採集できたので報告する。

調査地と調査方法

2011 年 11 月 8 日，2014 年 5 月 30 日，宇治島の避難港から廃屋を通り，南日岳の灯台に至る道沿いにおいて，見つけどりによるアリのサンプリングを行った。サンプリングについやした時間は 1 回につきおよそ 3 時間であった。

結果と考察

2 回の調査で宇治島から 3 亜科 12 属 14 種のアリが採集され，そのうち 13 種が同島および宇治群島初記録であった [これらは，福元（2016）に未発表データとして掲載されている]。また，北九州市立自然史・歴史博物館の山根コレクション（SKYC）には，宇治島（ラベルでは「家島」が使用されている）から採集されたトビロシワ

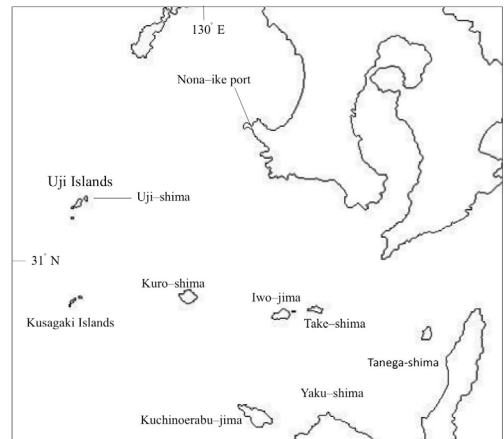


Fig. 1. Location of Uji-shima, the Uji Islands, Kagoshima-ken, Japan.

リとオオズアリの標本がある（付録を参照）。トビロシワアリを加えると宇治群島全体からは 3 亜科 13 属 15 種確認されたことになる。得られたすべてのアリが屋久島，種子島でも記録されている。このことから，宇治群島のアリは薩南諸島北部のアリ相の部分となすと考えていいと思われる。

2 回ともサンプリングに使った時間が短く，また調査できたのは島のごく一部であった。とくに土中，石下，朽木などで多くみられるハリアリ類，ノコギリハリアリ，カギバラアリ類，ウロコアリ類などの種を見落とししている可能性がある。

謝辞

鹿児島大学名誉教授の山根正気氏には，種の同定についてご指導をいただいた。また，2011 年および 2014 年の調査においては，鹿児島大学大学院理工学研究科南西島弧地震火山観測所の皆様には宇治島渡島に同行することの許可をいただいた。以上の方々に深くお礼申し上げる。

Fukumoto, S. 2017. Records of ants (Hymenoptera: Formicidae) from Uji-shima, Uji Islands, Kagoshima, Japan. *Nature of Kagoshima* 43: 295-296.

✉ SF: The Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: shigeko@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

付録

宇治島で採集されたアリの標本記録

標本数は個体の数を、働きアリ w で示し、括弧内は点数（ピンの数）である。採集者はすべて筆者である。以下に示す標本は全て乾燥標本であり、これら以外に液浸の状態で作成されているサンプルがある。

Brachyponera nakasujii ナカスジハリアリ – 2w(1), 8. xi . 2011, leaf litter: 2w(1), 30. v . 2014, leaf litter.

Monomorium chinense クロヒメアリ – 2w(1), 30. v . 2014, near port.

Aphaenogaster osimensis イソアシナガアリ – 1w(1), 30. v . 2014, around port.

Pheidole fervens ミナミオオズアリ – 1w(2), 8. xi . 2011, near port: 1w(1), 30. v . 2014, near port.

Pheidole noda オオズアリ – 2w(1), 8. xi . 2011, road leading to the lighthouse: 2w(1), 30. v . 2014, road leading to the lighthouse.

Tetramorium bicarinatum オオシワアリ – 1w(2), 30. v . 2014.

Crematogaster vagula クボミシリアゲアリ – 2w(1), 30. v . 2014.

Cardiocondyla sp. ヒヤケハダカアリ近縁種 – 1w(2), 8. xi . 2011.

Pristomyrmex punctatus アミメアリ – 1w(1), 8. xi . 2011.

Nylanderia flavipes アメイロアリ – 1w(1), 8. xi . 2011, road leading to the lighthouse.

Lasius japonicus ケアリ – 1w(1), 30. v . 2014.

Camponotus bishamon ホソウメマツオオアリ – 1w(2), 8. xi . 2011: 2w(1), 8. xi . 2011.

Camponotus nawai ナワヨツボシオオアリ – 1w(1), 8. xi . 2011.

Formica hayashi ハヤシクロヤマアリ – 2w(1), 30. v . 2014, road leading to the lighthouse.

北九州市立自然史・歴史博物館の山根コレクション(SKYC)に所蔵されている標本(このうち、トビイロシワアリは今回の調査ではえられなかった)。

Pheidole noda オオズアリ – 1w(1), Ie-jima [=Uji-shima], 8.v.1986 (collector not stated).

Tetramorium tsushimae トビイロシワアリ – 1w(1), Ie-jima [=Uji-shima], 8.v.1986 (collector not stated).

引用文献

福元しげ子. 2016. 薩南諸島北部のアリ相. 鹿児島大学生物多様性研究会(編), 奄美群島の生物多様性, pp. 134-135. 南方新社, 鹿児島.

山根正気・幾留秀一・寺山 守. 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会, 札幌.